

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 3 日

前橋市長 小川 星 殿

提出者 〒 379-2154

住 所 群馬県前橋市天川大島町1340番地4

氏 名 三山アドコス生コン株式会社

代表取締役 諸角 富美男

電話番号 027-289-2182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	三山アドコス生コン株式会社 前橋工場
事 業 場 の 所 在 地	群馬県前橋市天川大島町1347
事 業 の 種 類	E21 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	/ 2,301	全 処 理 委 託 量	2,301
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 处 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2,301t
自 ら 中 間 处 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	1,840t
②⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1,840t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,840t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
⑮⑯のうち中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
⑰⑯のうち中間処理委託量	
⑱⑰のうち再生利用業者への処理委託量	
⑲⑱のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑳⑲のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



t

不要物等発生量

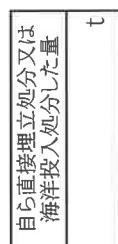
t



② t

排出量
0.40t

t



③ t

項目

実績値



t

①排出量
②+⑧自ら再生利用を行った量
⑥自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収を行う業者への処理委託量

t



t

④自ら中間処理により減量した量
⑤自ら中間処理した量
⑥自ら中間処理により減量した量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑧自ら中間処理により減量した量
⑨自ら中間処理により減量した量
⑩自ら中間処理により減量した量
⑪自ら中間処理により減量した量
⑫自ら中間処理により減量した量
⑬自ら中間処理により減量した量
⑭自ら中間処理により減量した量

t



t

⑪のうち再生利用業者への
処理委託量
⑫のうち熱回収認定業者への
処理委託量
⑬のうち熱回収を行う業者への
処理委託量
⑭のうち熱回収を行う業者への
処理委託量

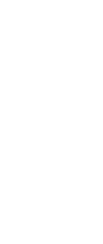
t



t

⑫のうち優良認定業者への
処理委託量
⑬のうち熱回収認定業者への
処理委託量
⑭のうち熱回収を行う業者への
処理委託量

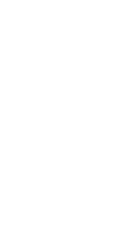
t



t

⑭のうち熱回収を行う業者への
処理委託量
⑭のうち熱回収を行う業者への
処理委託量

t



t

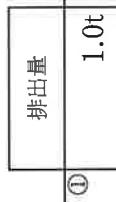
(第2面)

計画の実施状況

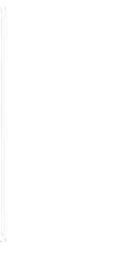
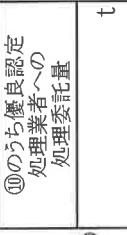
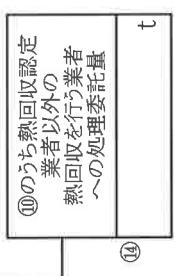
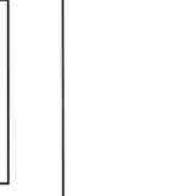
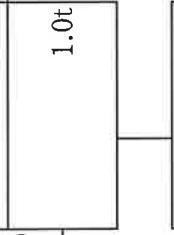
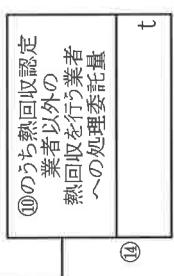
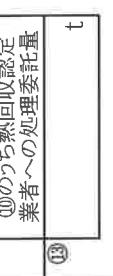
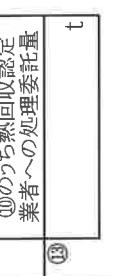
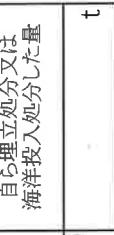
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



不要物等発生量



項目	実績値
①排出量	1.0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1.0t
⑪優良認定業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収を行つ業者への処理委託量	t



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。